

取組み 続ける しんきん

[詳細情報については、それぞれのチラシ(しんきんの店頭やHP)をご確認ください]

主催：気仙沼信用金庫、(一財)気仙沼しんきん復興支援基金
共催：気仙沼市役所、気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会
申込・問合せ：気仙沼信用金庫復興支援部 (0226-22-5899)

しんきんパワーアップ講座

自分・自社に当てはめて、今日からでもできるノウハウをお教えします！



申込フォーム

会社の強みの伸ばし方を知りたい方に贈る

自分たちの強みがよくわからない
自分たちに合った従業員って？
会社の"いいとこ"を見つけるプロが教える

自分の会社・お店の「価値ストーリー」を作ってみよう！

次の一手の打ち出す優先順位がわからない。他社に模倣されない自社の強みを作りたい

【プログラム内容】

- 1st Step 会社の"いいとこ"ってどんなもの？
- 2nd Step 価値ストーリーとは？
- WorkShop 価値ストーリーの作り方を学ぼう
- 3rd Step 自社のいいところの掘り起こし方



及川 朗

日付：2018年12月5日(木) 16時30分～19時30分
場所：□ship (スクエアシップ)：気仙沼市の市2階
定員：20名(参加無料・申込制)
講師：マネジメントラボ フリーズ 及川 朗
(中小企業診断士・東北知的資産経営マネジメント研究会発起人)

商品や会社のイメージの道筋を考えたい方に贈る

うちの商品を一言で伝えるには？
自社の売り文句がしっくり来てない
映像制作のプロと一緒に考える

自分の会社・商品の「コンセプト」を強化しよう！

マイナスイメージをプラスに変えたい。自社のコンセプトがどう顧客に伝わってる？

【プログラム内容】

- 参加者3名の自社・商品のコンセプトについて
- 講師の映像制作メソッドを応用し、
- 相互検討をしながらブラッシュアップします。
- (2時間で一輪となります。)



播磨 亮彦

日付：2018年12月8日(土)～12月9日(日) 2時間交代制
場所：□ship (スクエアシップ)：気仙沼市の市2階
定員：15名(参加無料・申込制：時間枠は個別に調整いたします)
講師：株式会社BBグラフィックス 代表 播磨 亮彦
(TVCM)

未来に門を新し新しいアイデアを求め方に贈る

現状を打破する発想が欲しい
新商品のアイデアが欲しい
アイデア創出支援の第一人者が教える

アイデアが止まらなくなる実践ワークショップ

アイデアの生み出し方を学びたい
斬新な発想を自分で生み出す方法を知りたい

【プログラム内容】

- Day1 現状を変えていく発想を沢山生み出す
課題を集める・測票する (nekonote)
一人発想法 (CEMRAPS)
PPGプレスト
- Day2 新商品や新しい販売のネタを発想する
閃きの生成 (エクスカージョン)
既存産業に新事業の芽を見つける (531ストレンジ)
優れたアイデア創出へのアドバイス



石井 力重

日付：[Day1] 2018年12月14日(金) 15時00分～18時00分
[Day2] 2018年12月15日(土) 09時30分～12時30分
場所：□ship (スクエアシップ)：気仙沼市の市2階
定員：各回20名(参加無料・各回申込制)
講師：アイデアブランド 代表 石井 力重
(多くの大学や企業でアイデア創出支援を行う第一人者)

Think!

様々なテーマで次世代へのヒントを探る



申込フォーム

day.2 「生きるように働く人」に共通すること

2018年12月2日(日) 16時00分～19時00分
日用品と喫茶「ハチワレ堂」：気仙沼市古町4丁目1-34
定員：20名(先着) (参加無料・申込制)

【プログラム概要】

- 16:00～17:00 ゲスト紹介
- 17:00～18:00 フリートークセッション
- 18:00～19:00 トークセッション



日用品と喫茶「ハチワレ堂」
自宅をセルフバージョンしながら暮らしオーナーが
ひっそりと、心温まる雑貨・コーヒーを提供 (2019年2月開店予定)



趣通信
藤森啓敬



巻組
渡邊享子



日本仕事百科
ナカムラケンタ



フリーライター
近藤快



ケイクス
デザインオフィス
大沼亮昌

day.3 ふくしのあかるいみらいのために

2018年12月21日(金) 15時00分～18時00分
市民福祉センター「やすらぎ」：気仙沼市錦町1丁目2-1
定員：80名(参加無料・当日参加・途中参加可)

【プログラム概要】

- 15:00～16:00 ゲストからの事例紹介
- 16:05～16:55 3人のゲストに分かれた分科会
- 17:05～18:00 分科会共有・クロストークセッション



光プロジェクト
杉村 卓哉
「ショッピングリハビリ」



森のわらべ多治見園
浅井 智子
「森のようちえん」



りぶらす
橋本 大吾
「卒業できる通所サービス」

気仙沼アプリ開発合宿

2018.11.23(金・祝)～25(日)

気仙沼アプリ開発合宿は、三日間の合宿に参加し、
気仙沼市を盛り上げるスマートフォンアプリの開発に挑戦するプロジェクトです。

SCHEDULE 日程

11/23 (Fri) 10:00～10:30 オリエンテーション
10:30～20:00 アプリ開発研修
(昼食12:30～13:10、夕食18:00～18:40)

11/24 (Sat) 09:00～10:00 アプリ開発研修
10:00～14:40 アイデアワークショップ
(昼食12:30～13:10)

14:40～18:00 アプリ開発研修&ハッカソン
18:40～20:00 ハッカソン

11/25 (Sun) 09:00～12:00 ハッカソン
13:00～15:00 アプリ発表会

※随時休憩あり、昼食・夕食に軽食は用意しますが、各自必要に応じてご用意ください。

講師紹介



タイムカプセル株式会社 代表取締役・相澤謙一郎
300名以上のスマホアプリの開発にたずさわった累計のアプリダウンロード数は1,000
万を超える。初期のヒット作「ちやぶち返す」のほか「あべびこ」!「横浜マリノスユニ
フォーム」など好評を博す。県立沼津商業高等学校、県立東葉商業高等学校、尚美三
育専門学校でアプリ開発の講師を担当。共催「これからの自治体産業政
策」第一都市が育む人材と仕事②「明治学院大学法学部」。

対象

気仙沼市にお住まいの中学生以上の方(開催場所までご自身または保護者の方の送迎が可能な方)

場所

ITベースこほらぎ荘(宮城県気仙沼市唐桑町88番ITベースこほらぎ荘)

お問い合わせ

タイムカプセル株式会社
TEL:058-214-9760/MAIL:kesenumaprogramming_info@gmail.com

申込方法

下記応募フォームまたは右のQRコードよりお申し込み下さい。
<http://timecapsuleinc.org/kesenuma-programming/applicationform/>



しんきんパワーアップ講座

自分・自社に当てはめて、今日からでもできるノウハウをお教えします！

会社の強みの伸ばし方を知りたい方に贈る

自分たちの強みがよくわからない
自分たちに合った従業員って？
会社の「いいとこ」を見つけるプロが教える

自分の会社・お店の「価値ストーリー」を作ってみよう！

次の一手の打ち出す優先順位がわからない、他社に模倣されない自社の強みを作りたい

商品や会社のコンセプトやブランディングの道筋を考えたい方に

うちの商品を一言で伝えるには？
自社の売り文句がしっくり来てない
映像制作のプロと一緒に考える
自分の会社・商品の「コンセプト」を強化しよう！

マイナスイメージをプラスに変えたい、自社のコンセプトがどう顧客に伝わってる？

未来につながる新しいアイデアを求めの方にお届けする

現状を打破する発想が欲しい
新商品のアイデアが欲しい
アイデア創出支援の第一人者が教える
アイデアが止まらなくなる
実践ワークショップ

アイデアの生み出し方を学びたい、斬新な着想を自分で生み出す方法を知りたい

（プログラム内容）

- 1st Step 会社の「いいとこ」ってどんなもの？
- 2nd Step 価値ストーリーとは？
- WorkShop 価値ストーリーの作り方を学ぼう
- 3rd Step 自社のいいとこの掘り起こし方



及川 朗

（プログラム内容）

- 参加者3名の自社・商品のコンセプトについて講師の映像制作メソッドを応用し、相互検討をしながらブラッシュアップします。（2時間で一枠となります。）



播磨 亮達

（プログラム内容）

- Day1 現状を変えていく発想を沢山生み出す
課題を集める・洞察する（nekonote）
一人発想法（CEMRAPS）
PPGプレスト
- Day2 新商品や新しい商売のネタを発想する
閃きの生成（エクスカージョン）
既存産業に新事業の芽を見つける（531ストレンジ）
優れたアイデア創出へのアドバイス



石井 力重

日付：2018年12月5日（水）16時30分～19時30分
場所：□ship（スクエアシップ）：気仙沼海の市2階
定員：20名（参加無料・申込制）
講師：マネジメントラボ プリーズ 及川 朗

日付：2018年12月8日（土）～12月9日（日）2時間交代制
12月8日 13:00-15:00 15:00-17:00 17:00-19:00
12月9日 09:30-11:30 11:30-13:30
場所：□ship（スクエアシップ）：気仙沼海の市2階
定員：15名（参加無料・申込制：時間枠は個別に調整いたします）
講師：株式会社BBグラフィックス 代表 播磨 亮達

日付：[Day1]2018年12月14日（金）15時00分～18時00分
[Day2]2018年12月15日（土）09時30分～12時30分
場所：□ship（スクエアシップ）：気仙沼海の市2階
定員：各回20名（参加無料・各回申込制）
講師：アイデアプラント 代表 石井 力重

及川朗 / マネジメントラボ・リーズ代表 東北知的資産経営マネジメント研究会 発起人

宮城県仙台市出身。東北大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。理学博士（東北大学）
大手企業、ベンチャー企業幹部を経て、マネジメントラボリーズを設立。
兵庫・大阪を拠点に知的資産経営を中心とした経営支援を実施。
200社以上の知的資産経営支援件数を誇る大阪府中小企業診断協会 知的資産経営研究会の中心メンバーであり、東北でも多くの企業の「いいとこ」の掘り起こしを通じて、経営者や経営幹部などに自社の特長がどう繋がって、長所や顧客に提供する価値に繋がっているかを形にする活動を行なっている。2018年春には東北知的資産経営マネジメント研究会を立ち上げた。

播磨亮達 / 株式会社BBグラフィックス代表取締役

映像プロダクションの3DCGデザイナーとしてTVCMなどの制作に12年間従事。2005年、CG映像、グラフィックス制作会社「BBグラフィックス」を設立。代表を務める。
制作実績は、東北楽天イーグルスPV、カメイ CM、ドコモ東北CM、東北電力ニュースタイトル、仙台市ガス局CMなど多数あり。
CM・PVなどの映像作品を手がけ、その中から消費者に行動を促す仕事をする中で、映像制作を通して何を提供すべきかのコンセプト設計についての理論を確立。この理論が商品や企業のコンセプトづくりに役立つことから、事業者へのコンセプトづくりの支援を行っている。

石井力重 / アイデアプラント代表 アイデア創出支援の専門家

1973年千葉県生まれ。東北大学大学院・理学研究科修士課程卒業。
新卒で商社に入るも、さらなる学びを求めて再び大学院へ入学。その後、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）のフェローとして3年間、宮城のベンチャー企業に滞在。2009年にアイデアプラントを創業。
プレストの技法が身につくカードゲーム『プレスター』でみやぎものづくり大賞優秀賞受賞。
考えの表出化の補助道具『neko note（ねこのと）』は、日本創造学会の発表賞受賞。このほか、早稲田大学、東北工業大学、奈良女子大学の非常勤講師を務める。著書に『アイデア・スイッチ 次々と発想を生み出す装置』（日本実業出版、2009年）

本講座は、気仙沼市創業支援事業計画に基づく特定創業支援事業「創業期事業者支援プログラム」として提供しており、公益財団法人日本財団「わがまち基金」プロジェクト、創業支援事業者補助金の支援を受け実施しています。

主催：気仙沼信用金庫

共催：気仙沼市役所、気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会

※特定創業支援事業による支援を一定以上受けた方には、気仙沼市から特定創業支援に係る証明書の発行を受けることができ、株式会社の設立時にかかる登録免許税の軽減などの特典を受けることができます。（詳細は、気仙沼信用金庫までお問合せください。）

申込方法

右のQRコードからの申込みまたは
気仙沼信用金庫復興支援部に直接申込みください。
（申込みの際に氏名・連絡先をお伝えください。）

電話：0226-22-5899（担当：櫻本・布田）

FAX：0226-25-8214

Mail：s1175002@facetoface.ne.jp

申込みフォーム



Think! day.2

「生きるように働く人」に共通すること



12月2日(日)16時~19時

日用品と喫茶「ハチワレ堂」：気仙沼市古町4丁目1-34

セルフビルドで开店準備を進めるお店 日用品と喫茶「ハチワレ堂」を舞台に、朝からカフェカウンターをつくり、夕方には語り、夜は街で繰り出し飲み語る1日



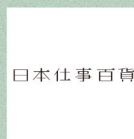
趣通信
藤森啓敏

「ゼロから始めるメディア」の作り手



日本仕事百貨
ナカムラケンタ

「生きるように働く」を伝える仕掛け人



ケイクスデザインオフィス
大沼兄昌

「故郷を支える」デザイナー



巻組
渡邊享子

「リノベーション」を広める仕事人



日用品と喫茶「ハチワレ堂」

自宅をセルフリノベーションしながら暮らすオーナーが地元の人が集う飲食店だった場所を自ら改修し、心温まる日用品や雑貨・コーヒーを提供する。
(2019年2月開店予定)

元々捨てられるはずだった家具や廃材を生まれ変わらせ、生かしてくれる方へと繋ぐ「人とモノを繋ぐ場」を目指す。



フリーライター
近藤快

「ことば」で相手の想いを紡ぐライター

SHIFT+
LOCAL

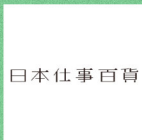
東北復興新聞



Think! day.2

様々なテーマで次世代へのヒントを探る

「生きるように働く人」に共通すること



ナカムラケンタ / (株)シゴトヒト代表取締役, (株)ポップコーンシアター共同代表

明治大学建築学科を卒業後、不動産会社に入社。同級生3人と住宅をリノベーションしながらの共同生活を送り、2007年28歳のときに退職、2008年に求人サイト「東京仕事百貨」（※現在は「日本仕事百貨」に名称変更）を設立。
生き方・働き方を考える本のレーベル「シゴトヒト文庫」や、憧れの職業を試せる場「リトルトキョー」の企画・運営など、仕事をテーマにさまざまなサービスを提供している。
2018年9月20日に著書『生きるように働く』を出版。

渡邊享子 / 合同会社巻組代表, 一般社団法人ISHINOMAKI2.0理事
東北芸術工科大学デザイン工学部コミュニティデザイン学科専任講師

1987年埼玉県出身。東京工業大学大学院社会工学専攻修了(工学修士)。2012年日本学術振興会特別研究員
2013年一般社団法人ISHINOMAKI2.0理事就任を経て、2015年合同会社巻組代表。
2011年大学院在学中に宮城県石巻市へ移住。1年間でのべ28万人もの災害ボランティアを受け入れた同市で、支援活動にあたる若者向けの賃貸住宅が不足している実態に直面し、被災した空き家の改修、情報提供、シェアハウスの企画運営等の活動を始める。2016年、こうした活動が評価され、日本都市計画学会計画設計賞を受賞。地方でチャレンジする若者が育つ場づくりと人材育成にむけて日々奮闘中。



藤森啓敏 / 株式会社アートブレインズ代表取締役, 着物メディア「趣通信」設立者

早稲田大学人間科学部を卒業後、2009年ネット広告代理店セブテーニ入社。2014年独立。
ソーシャルゲーム攻略サイトを立ち上げ、3か月後に事業売却。（売却時月間300万PV）
2014年8月、自社サービス「趣-omomuki-」リリース。
現在、月間350万人にリーチする着物のハウツーを中心としたメディア「趣通信」の運営を中心に、Webマーケティングに係るコンサルティングを提供している。

近藤快 / フリーライター

1983年神奈川県生まれ。2008年株式会社週刊粧業入社。化粧品業界紙「週刊粧業」において、販売メーカーから、OEM、原料、小売などまで幅広く取材。
2016年9月～フリーランス・ライターとして独立。東北の復興に関わる方の取材・情報発信を行う。主な仕事やテーマは、東北復興新聞（NPO法人HUG）、未来への学び（Googlex 復興庁）、WORK FOR にっぽん（旧「WORK FOR東北」（日本財団））、「東北食べる通信（NPO法人東北開墾）から生まれたオンラインマルシェ・ポケットマルシェ」のほか、企業のCSR・CSV、ソーシャル・ローカルビジネス、一次産業、地方創生・移住などを取材～執筆活動している。



東北復興新聞



大沼兄昌 / cakes design office 代表, OE REPOWER PROJECT 代表, グラフィックデザイナー

山形県大江町出身。東北芸術工科大学・大学院修了後、ビジュアルデザインスタジオ「wow」に入社。その後フリーランスを経て、2016年3月にケイクスデザインオフィスを開業。グラフィックデザイン、Webデザイン、各種プロジェクトのディレクション、コンサルティング業務を行っている。
約4年間、個人名義で「グラフィックデザインを活用した大江町の地域活性化」の提案を行い、2015年春に任意団体化し、「大江町の博覧会 SHAKE LAB 2015」を初開催し、毎年開催を続ける。
行政と連携したデザインにも取り組み、2018年には大江町のバス停看板のリニューアル時のデザインを担当。地元のご当地ヒーロー「憑身シェイガー」のロゴを担当するなど、幅広い地域活性化デザインを担当する。

- 16:00～17:00 ゲスト紹介
- 17:00～18:00 FreeTalk セッション
- 18:00～19:00 Talkセッション
- 19:00～ けせんぬまの街で語り明かす「動く！しごとバー」へ

動く！しごとバー情報は
Facebookをチェック！



2018年12月2日（日）16:00～19:00

申込フォーム

日用品と喫茶「ハチワレ堂」：気仙沼市古町4丁目1-34

定員：20名（先着）

主催：気仙沼信用金庫 共催：気仙沼市役所、気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会

申込・問合せ：気仙沼信用金庫復興支援部（0226-22-5899, s1175002@facetoface.ne.jp）





Think! day.3

ふくしのあかるいみらいのために

12月21日（金）15時00分～18時00分

市民福祉センター「やすらぎ」：気仙沼市錦町1丁目2-1

地域と福祉と社会のつながりが重要となる現在
国の制度もあるけれど、今の気仙沼なら、
より新しく・便利で・豊かな捉え方が
できるのではないかと、
そんな気持ちで企画しました。



光プロジェクト株式会社
Creating a world where the elderly will shine. 〒110-0002

光プロジェクト
杉村 卓哉
スーパーや商店街が
リハビリ場所に
「ショッピングリハビリ」



森のわらべ多治見園
浅井 智子
自然が親子を育てる
「森のようちえん」



りぷらす
Link & Rehabilitation Plus

りぷらす
橋本 大吾
卒業(も)できる
通所サービス
「りぷらす」



Think! day.3

様々なテーマで次世代へのヒントを探る
ふくしのあかるいみらいのために



分科会：森のようちえんの取組みが地域に与える影響（育児・教育・里山づくり）

浅井智子 / 自然育児 森のわらべ多治見園 園長、母と子の幸せ応援団~ひなたぼっこ~ 代表

名古屋市立保育短期大学卒業後、公立保育園の保育士として勤める。
その後、我が子を愛知県春日井市の森のようちえんで育てながら、スタッフとして関わる。
その経験をもとに、岐阜県多治見市にて岐阜県初の森のようちえん『自然育児 森のわらべ多治見園』を立ち上げる。森のようちえん全国ネットワークの初代運営委員を務めながら、森のようちえんの普及活動を全国で展開。
2016年には、『母と子の幸せ応援団~ひなたぼっこ~』を立ち上げ、自然育児&勇気づけ子育てを提唱。
2018年には JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2018 において特別賞・優秀賞を受賞。
2019年の森のようちえん全国交流フォーラムin岐阜では実行委員長を務める。



分科会：「ショッピングリハビリと買い物弱者の関係性とその現状」

杉村卓哉 / 光プロジェクト株式会社代表取締役・作業療法士

1980年鳥取県米子市生まれ。
リハビリテーション専門病院や介護施設に勤務後、2010年に個人事業主として独立。
2014年光プロジェクト設立。「10回の運動より、1回のお買い物！」をキーワードに、買い物する際に転倒しにくいショッピングカートを開発し、次世代型の介護・福祉の形としてのショッピングリハビリ事業に取り組んでいる。
現在、日本全国のデパート・スーパー等と連携したサービスを展開中。



光プロジェクト株式会社
Creating a world where the elderly will shine. 〒100-0001

分科会：「卒業できる通所サービスの作り方と地域包括ケアのあり方」

橋本大吾 / 一般社団法人りぷらす 代表理事

1980年茨城県鹿嶋市生まれ。2007年に八千代リハビリテーション学院卒業し理学療法士免許取得。
埼玉県の医療法人にて、デイケア、老健、訪問リハ、施設立ち上げなどに従事。2011年東日本大震災により自宅が被災。同年6月に有志でリハ職による災害リハ団体を設立し、12月より石巻市へ移住。
2013年一般社団法人りぷらす設立。「子供から高齢者まで病気や障がいの有無にかかわらず地域で健康的に生活し続ける事が出来る社会を創造する」を理念に活動。リハビリ特化型通所サービスのほか、地域における介護予防活動、企業と連携した介護離職対策への取組み、訪問型健康見守りサービスの提供など、多くの地域課題に対し、徐々にその活動の幅を広げている。



[プログラム概要]

- 15:00~16:00 ゲストからの事例紹介
- 16:05~16:55 3人のゲストに分かれた分科会
- 17:05~18:00 分科会共有・クロストークセッション

当日参加可能
託児あり

入場無料
途中入場可能

申込フォーム



事前申込に
ご協力ください

12月21日（金）15時00分~18時00分
市民福祉センター「やすらぎ」：気仙沼市錦町1丁目2-1
定員：80名

主催：気仙沼信用金庫 共催：気仙沼市役所、気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会
問い合わせ：気仙沼信用金庫復興支援部（0226-22-5899）

＼ 気仙沼を盛り上げよう！ ／

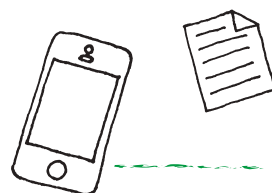
気仙沼アプリ開発合宿

2018.11.23(金・祝)ー25(日)

気仙沼アプリ開発合宿は、三日間の合宿に参加し、
気仙沼市を盛り上げるスマートフォンアプリの開発に挑戦するプロジェクトです。

SCHEDULE 日程

23日(Fri.) 10:00～10:30 オリエンテーション
10:30～20:00 アプリ開発研修
(昼食：12:30～13:10、夕食：18:00～18:40)



24日(Sat.) 09:00～10:00 アプリ開発研修
10:00～14:40 アイデアワークショップ
(昼食：12:30～13:10)
14:40～18:00 アプリ開発研修&ハッカソン
18:40～20:00 ハッカソン



25日(Sun.) 09:00～12:00 ハッカソン
13:00～15:00 アプリ発表会

※随時休憩あり。昼食・夕食に軽食は用意しますが、各自必要に応じてご用意下さい。

講師紹介



タイムカプセル株式会社 代表取締役 相澤謙一郎

300本以上のスマホアプリの開発にたずさわり、累計のアプリダウンロード数は1,000万を超える。初期のヒット作『ちやぶ台返し』のほか、『あべぴょん』、『横浜F・マリノスコレクションカード』などが好評を博す。県立岐阜商業高等学校、県立東濃実業高等学校、尚美ミュージックカレッジ専門学校にてアプリ開発の講師を担当。共著「これからの自治体産業政策ー都市が育む人材と仕事ー」。明治学院大学法学部卒。

対象 気仙沼市にお住まいの中学生以上の方（開催場所までご自身または保護者の方の送迎が可能な方）

場所 ITベースこはらぎ荘（宮城県気仙沼市唐桑町館68番ITベースこはらぎ荘）

お問い合わせ タイムカプセル株式会社
TEL：058-214-9760 / MAIL：info@timecapsuleinc.org



申込方法 下記応募フォームまたは右のQRコードよりお申し込み下さい。
<https://timecapsuleinc.org/kesenuma-programming/applicationform/>



気仙沼信用金庫

一般財団法人

気仙沼しんきん復興支援基金

気仙沼アプリ開発合宿は、公益財団法人日本財団『わがまち基金』プロジェクト、創業支援事業者補助金の支援を受け実施しています。
共催：気仙沼市役所、気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会／協力：認定NPO法人底上げ、一般社団法人まるオフィス